

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	教 育 長
9	森 山 き よ み	社 民	関 係 局 長	

発言の要旨

<p>1 本市が所有するデータの取扱いに関して</p> <p>(1) 学校の健康診断結果のデータ提供について</p> <p>① 提供依頼の経緯・目的</p> <p>② 提供したまたはしなかった自治体・教育委員会・学校</p> <p>③ 本市の判断と理由</p> <p>(2) 本市の情報提供に関して</p> <p>① 国・県からの情報提供要請はあるのか</p> <p>② その際には、個人情報も含まれるのか</p> <p>③ 学術・研究目的でのデータ提供の要請はなかったか</p> <p>④ あるとすれば、どのようなデータか（その対応と根拠）</p> <p>⑤ 提供したデータに個人情報は含まれているのか</p> <p>⑥ データの提供要請があった場合の判断の流れ</p> <p>(3) 今後の対応について</p> <p>① 職員の研修の必要性和漏えい防止のシステム</p> <p>② 「匿名加工情報」にする方法</p> <p>③ 「匿名加工情報」の提供を受けるようになるのはどのような人か</p> <p>④ 本市の個人情報保護条例の改正の必要性</p> <p>⑤ 課題と今後の対応</p> <p>(4) オープンデータについて</p> <p>① 提供を始めた時期、数、内容</p> <p>② 利用状況、好評なデータ・要望のあるデータ</p> <p>③ 指針にある目的別にみたオープンデータの評価</p> <p>④ 所管課への要請・指導の状況</p> <p>⑤ 民間の方々との協力・推進</p> <p>⑥ 基本方針策定等今後の対応</p> <p>2 図書館の新たな役割に対する認識と若者が集まる場の提供について</p> <p>(1) 人を集積する役割としての図書館について</p> <p>① 必要性の認識</p> <p>② 先進地の調査</p> <p>(2) 若者が音楽やダンスなどをする場所について</p> <p>① 本市の公・民の設置状況</p> <p>② 整備の考え方</p>

3 高校の教育について

(1) 高校の募集定員等について

① 市立3高校の募集定員と応募状況について

ア. 過去5年間の定員に満たない学科の状況と回数・傾向

イ. 過去5年間の定員内不合格者の数

② 高校等の在籍者数・募集定員等の推移と現状について

ア. 2007年・12年・17年の県立・市立・私立・専門学校等の在籍者数・募集定員・平均競争倍率の推移

イ. 同じく市立3高校ごとの在籍者数・募集定員・平均競争倍率の推移

ウ. 同じく鹿児島学区の鹿児島市内の高校並びに玉龍高校への学区外入学者数の推移

③ 10年後の定員割れや受験倍率の予想

④ 今後の対応について

ア. 定員内不合格者の解消について

イ. 市立高校の募集定員や学科再編に向けての検討

(2) 障害者差別解消法を受けて

① 本年度の公立高校の入試で「別室受験」等配慮したケースはあるのか（前年度対比を含めて）

② 市立3高校ではどうか（具体的なケース）

③ 学校、受験生の全ての申し出を尊重しているのか

④ この機会に「合理的配慮」を含めた法の趣旨と対応について指導を

(3) 「通級指導」について

① 文科省の通知の背景と内容

② 市立3高校で通級指導をする場合の課題

③ 学校での研究や教職員研修の必要性

4 花尾古道の整備について

(1) 花尾街道と花尾古道の歴史的な位置づけ

(2) 利用状況

(3) 所有権はどこにあるのか

(4) 整備は誰が行っているのか

(5) 案内板の設置者と管理の状況

(6) 教育振興基本計画における史跡等に対する考え方

(7) 整備に向けた調査

5 「川柳」を活用した元気ある街・人づくりについて

(1) 本市が、広く全国に「川柳」を募集して観光・健康・移住等の諸課題の解決の一助に